



# 会報

第34号

平成11年3月

## アルテピア

社団 法人 北海道美術館協力会

札幌市中央区北2条西17丁目 電話011-644-4025



森田沙伊「洛北少女」

昭和12（1937）年  
北海道立近代美術館蔵

頭上にのせた大きな桶を片手で器用に支える姉と、笊（ざる）に両手をそえる幼い妹。なにげないしぐさが生き生きとした生彩を放つ、農村の日常風景である。背景は、抑えた色調と幾何学的な直線や曲線を配した構成でまとめられ、鮮やかな裂（きれ）や白木綿の脚半を着けた少女の姿に、京都の風情があらわれている。

森田沙伊（明治31～平成5）は、昭和3年の帝展初入選以来、順調に画家の道を邁進し、主に日展を活躍

の場とした。新しい日本画を模索した時期、田園風趣を描いた作品を連續して発表し、これが新鮮な画題としてむかえられ、また、作者の個性の原型となった。その後も一貫して、身近な人物や動物など心から愛情を寄せる対象を描き続け、素朴で上品な画風を確立している。自然や小さな生命を慈しむ穏やかな人柄は、「隠静養生涯（静に隠れて、生涯を養う）」という座右の銘からも、うかがうことができる。

# 明日をめざして

## 美術館協力会の充実化

当協力会は、道立近代美術館オープンの昭和52年に任意団体で発足、その後、関係者の尽力で昭和54年に「社団法人」として認可され今日に至っております。この間、美術館の事業活動に協力するとともに、美術に関する道民の知識と教養の向上を図るため、必要な事業を実施運営してきました。事業の具体的な実施は、主にボランティアの活動協力で推進されてきましたが、その経過のなかで、事業の必然的な増大・ボランティアの増員・領域の拡大、等からルールや組織・機能の改善強化が必要となり、平成6年に組織改正（ボランティア3部から7部）をするなど、全国的に注目のボランティア活動を展開しております。今回その活動概況を紹介することにしました。

なお、昨年の創立20周年の年を大きな節目とし、新たな視点で会の発展を願い日々努力をしていますが、昨今の経済不況の波は当会にも少なからず影響して運営も厳しくなっており、また、ボランティア活動員もやや減少の傾向にあること等から、事業運営にあたっては、理事会を中心に創意工夫を重ね、活動の充実を図ることにしております。

「気楽に美術を楽しみ、心豊かな人生をおくろう」をモットーの協力会に、更なるご支援・ご協力をお願いします。



担当 研修部（部員七名）  
毎年、近代美術館と共に講座を開設、定員一百名で募集する人気のある講座である。期間は四月～九月までの半年間、講師は学芸員で、西洋・東洋等の美術に関する十六講座。この受講者で希望者には、ボランティア養成の講座を並行して実施している。  
また、現ボランティアの全体研修を担当、「7部」で実施の部内研修に関し、実績調整の窓口でもある。

本日はようこそ！  
鑑賞ガイドツアー  
担当 解説部（部員四九名）  
火・金曜の毎日、一日3回、土・曜は一回、各30分。近代美術館の常設展示作品の解説（ギャラリーガイド）を担当する。近頃は、来館者の質問や案内など、来館者との接点にもなっている。

担当 解説部（部員四九名）  
火・金曜の毎日、一日3回、土・曜は一回、各30分。近代美術館の常設展示作品の解説（ギャラリーガイド）を担当する。近頃は、視覚障害の方にも美術を楽しんで頂くために研修をしている。作品を適切に解説するため研鑽に努めているが、最近は視覚障害の方にも美術を楽しんで頂くために研修を重ねている。また、ARコーナーを担当、10時30分から16時まで美術に関する質問や案内など、来館者と接点にもなっている。

三岸美術館では、火・金曜の毎日13時～15時の間で展示作品の解説を担当している。

ボランティアの養成と研修担当 研修部（部員七名）  
毎年、近代美術館と共に講座を開設、定員一百名で募集する人気のある講座である。期間は四月～九月までの半年間、講師は学芸員で、西洋・東洋等の美術に関する十六講座。この受講者で希望者には、ボランティア養成の講座を並行して実施している。  
また、現ボランティアの全体研修を担当、「7部」で実施の部内研修に関し、実績調整の窓口でもある。



### 本日はようこそ！

#### 鑑賞ガイドツアー

### 2道立美術館等の事業活動に対する共催負担

- (1) 道立近代美術館
  - 常設・特設商店 延べ八八五人・延べ三八日（内特売三八日）
  - ポスター配布 延べ六七一人・配布枚数一・三六五枚
  - 年間展示計画配布 延べ二人・配布枚数〇〇〇枚
  - カンドーレの配布 延べ九六人・配布部数七・七四〇部
  - 常設展示作品解説 延べ六三二人・六三二回
  - ARS解説 延べ七九九人・二五〇回間
  - 資料整理 延べ四七〇人
  - 内訳〔新聞〕〇七〇人・ライド西七人・文書〇〇人
  - 「ミュージアム・スクール」への協力 延べ三五人・一一日間
  - 「A・MUSE・LAND」への協力 延べ八八人・三七日間
  - 作品解説 延べ一五〇人・一五〇回
  - ポスター配布 延べ二三三人・（配布部数三〇部）

### 3美術展観覧拡大への協力

- 道立近代美術館道立三岸好太郎美術館及び（財）札幌彫刻美術館事業活動の共催援助 援助負担総額一・〇〇〇・〇〇〇円
- 会員証利用による美術展の無料観覧を実施。対象館は道立五館・札幌市二館で、この美術館の利用観覧料ハ・七一一・ハ・〇〇円を支払った。
- 道立三岸好太郎美術館
  - 会報の年回の発行
  - 部内報「あんな一年三回発行
  - ボランティア等の送付
  - 会報の年回の発行
  - 館外活動「美術への誘い」の実施
  - ポスター配布 延べ〇〇〇人・五〇回
  - 活動延べ〇〇〇人・七回
  - 利用者延べ五六六人

### 4美術館普及活動の協力・促進

#### (1) 会報等による広報活動の実施

- 会報の年回の発行
- 館外活動「美術への誘い」の実施
- ポスター配布 延べ〇〇〇人・五〇回
- 活動延べ〇〇〇人・七回
- 利用者延べ五六六人

#### (2) 会報等による広報活動の実施

- 会報の年回の発行
- 館外活動「美術への誘い」の実施
- ポスター配布 延べ〇〇〇人・五〇回
- 活動延べ〇〇〇人・七回
- 利用者延べ五六六人

### 5美術講座の実施

- ボランティア養成を兼ねての美術講座を実施。
- 応募者〇四人・臺講者一九〇人・終了者一二四人（内男一二〇人）
- ボランティア養成を兼ねての美術講座を実施。
- 応募者〇四人・臺講者一九〇人・終了者一二四人（内男一二〇人）
- ボランティア養成を兼ねての美術講座を実施。
- 応募者〇四人・臺講者一九〇人・終了者一二四人（内男一二〇人）

### 平成十年度事業概要（総括）

#### 1道立美術館に対するボランティアの協力

##### ボランティアの協力

## 好評の海外美術研修旅行

担当 事業部（部員五名）

国内外の美術館研修旅行の企画・立案を担当。特に海外研修旅行は定員2班のところ3班に増やすなど好評を得ています。

会員や関係者の親睦交流を図るために、毎年、会員のつどいを開催し、その企画・実施を担当します。



「年一度講演とパーティーのタペイバンパーティで好評のつどい。」

## 大事な資料つくり

担当 資料部（部員三名）

主な活動の場である。道新や全国五大紙に掲載の企画、会員のつどいなどを担当して、また、会員や関係者の親睦交流を図るために、毎年、会員のつどいを開催します。

協力会定例総会の終了後に企画・実施を担当します。

評を得ています。

等を担当している。

また、スライドのマスクング、検索力ードの作成にあたるなど、美術館関係職員から高く評価されています。



「好評のつどい。」

## 会報「アルテピア」投稿歓迎

担当 広報部（部員十二名）

協力会事業のPR活動を担当している。関係美術館のポスター・チラシ・年間展覧会案内等の配布を各部の協力を得ながら、年間を通じ地道な活動を展開している。会報は、年2回発行

31号からA4版に増大、関係美術館の展覧会情報や会員のエッセイ等で楽しく情報

報を提供する「会報」づくりに努力している。

また、ボランティア活動員



## 「美術への誘い」が好評

担当 特活部（部員七名）

館外の美術普及活動が主な担当である。現部員全員が新人のことから、本年度は研修中心の活動であったが、それが実り本年2月に江別市野幌公民館で「美術への誘い」講座を3回にわたり開催、親しみ楽しむ美術紹介中心の内容に関心が持たれ好評であった。

また、近代美術館前庭と

近代美術館1階・2階の常設売店を担当。1階では図録・図書類・絵はがき等を中心、2階は、ガラス工芸品や七宝焼・額絵等を販売している。また、商品仕事から販売・在庫調へのか、商品開発を課題として取組んでいる。売店である以上、利益が前提であるが、美術館に相応しい売店であることを心がけている。なお、会員拡大に協力しており、会員証も担当している。



## 6「つどい'98」の実施

平成十年六月一日通常総会終了後開催、山崎達郎氏の講演会・パーティのべなど参加者相互の親睦交流をはかつた。

▽活動延一七七人一回

7「楽しい青空教室Part IV」：近代美術館の前庭で石の動物園をつくろう」の実施

平成十年七月一日近造形室・映像室・前庭で小学生を対象に開催。参加者六〇人（活動延八〇人二回）

（1）第16回道外瀬戸・兵庫美術の探訪を平成十年五月二十六日（三泊四日）、参加者五七名（二班編成）で実施。

（2）第19回海外美の探訪 ポルトガル・スペイン十日（泊十二日）を平成十年十月五日～三十日の間において、第一九日（三泊四日）、参加者五七名（二班編成）で実施。

（1）第16回道外瀬戸・兵庫美術の探訪を平成十年五月二十六日（三泊四日）、参加者五七名（二班編成）で実施。

▽活動延八〇人二回

8 海外・道外美術研修旅行

また、ボランティア活動員部としては、部員不足が最大の課題である。

部として、部員不足が

最大の課題である。

9 優秀な美術創作活動・及び美術作品の顕彰・奨励

学生美術金道展の最優秀者に「北海道美術館協力会賞」を贈

副賞として「海外美術研修旅行（十泊十二日）」に招待。

10 絵はがき等の作成・販売

（1）絵はがき 六七種四三、〇〇〇枚  
（2）図録 四種 一、一二六〇冊  
（3）ミュージアム新書一三種七〇〇冊

11 会員の拡大運動及び知名度のPR

会員募集のチラシを近正面玄関付や売店に置くほか、報

「あんてな」等に掲載し、会員拡大及び知名度のPRに努めた。

12 売店の運営

（1）常設売店（一階・二階）で、図書・図録及び絵はがき等を販売

（2）特設売店では、「東郷青児展」に

関わる図録・絵はがき等を販売

13 駐車場の運営

（1）常設売店（一階・二階）で、図書・図

録及び絵はがき等を販売

（2）特設売店では、「東郷青児展」に

関わる図録・絵はがき等を販売

14 会員数の状況（平成十一年月末現在）

個人会員一、五六七人 法人会員九八法人

入館者利用一九、八〇〇台 一般利用四、〇〇〇台の利用があつた。

（1）常設売店（一階・二階）で、図書・図

録及び絵はがき等を販売

（2）特設売店では、「東郷青児展」に

関わる図録・絵はがき等を販売

シルクロードは、中国の都・長安（現・西安）を起点にいくつかのルートを経て、西アジアやヨーロッパへとつながっていました。砂漠やオアシス、草原を経て、絹織物やガラス、金属器が往来し、さらに文化、思想、宗教が東へ西へと広く伝わっていったのです。



〈三彩載物駱駝俑〉唐時代 陝西歴史博物館蔵

この展覧会では、シルクロードが栄えた漢から唐の時代に焦点をあて、北

西の地中海と東の中国を結ぶ古代の交通路は、その代表的な交易品が絹であつたため、一九世紀の後半にドイツの地理学者によって「絹の道（シルクロード）」と名付けられました。以来、シルクロードは、壮大なロマンをかきよくなり、現在では東西文化の交流を象徴する言葉としても使われています。

シルクロードは、中国の都・長安（現・西安）を起点にいくつかのルートを経て、西アジアやヨーロッパへとつながっています。砂漠やオアシス、草原を経て、絹織物やガラス、金属器が往来し、さらに文化、思想、宗教が東へ西へと広く伝わっていったのです。

## シルクロードの煌めき— 中国・美の至宝

四月二八日（水）～七月四日（日）

## 近代美術館

# MUSEUM

## INFORMATION

平成11年度上半期の展覧会  
の中から、各館が推薦する  
事業をお知らせします。

近代美術館では、シルクロードが栄えた唐の時代に焦点をあて、中国・美の至宝を一堂に展覧します。

芸術の森美術館は札幌出身の夫婦の画家による札幌の画家シリーズの10回目を開催。

## 旭川美術館

智恵子 その愛と光彩—  
高村光太郎の彫刻と智恵子の紙絵展

六月一二日（土）～七月二八日（水）

代彫刻の開拓者として位置付けられています。二人は、一九一四年に結婚しましたが、智恵子は一九三一年頃から精神の病の兆候を示し始め、やがて入院生活

が、智恵子は入院中、多数の紙の切り抜き絵の制作をしており、千数百枚が現存しています。本展では、繊細な美しさにあふれる智恵子の紙絵と、光太郎の彫刻、素描や、『智恵子抄』の原稿、

詩集『智恵子抄』（一九四一刊）で知られる高村光太郎の妻・智恵子の没後六〇年を記念して、二人の作品を紹介し、その芸術を振り返る展覧会です。高村智恵子（旧姓長沼、六六一七）は、福島県に生まれ、東京で洋画を学び、大正から昭和初期にかけての婦人運動にも参加しました。一方、光太郎（六三一七）は、木彫家・高村光雲の長男として東京に生まれ、東京美術学校に学び『ロダンの言葉』などの著作と、彫刻作品によって、日本の近

## 函館美術館

オルレアン美術館

六月一九日（土）～七月一八日（日）

「オルレアンの少女」ジャンヌ・ダルクでもなじみ深いオルレアン市は、ロワール河流域の経済・文化の中心として、ローマ時代から栄えた古都です。その中心地にある美術館は、フランス大革命後に設立されましたが、とりわけ革命前の貴族文化を色濃く漂わせたコレクションにより、国内外でも広く知られています。

本展では、このフランソワ・ルノワールなど十八世紀のロココ美術に始まり、革命時



アンリ・ジャメ「宿題」1905年

る新古典主義、十九世紀のロマン主義、写実主義、そして二十世紀のエコール・ド・パリにいたるフランス美術二〇〇年の流れを、フランスの地方都市の美術館の中では五本の指に入るといわれます。有数のコレクションから、九十五点の作品を厳選して紹介します。



高村智恵子「カーネーション」

おおよび光太郎に影響を与えたロダンや同時代の日本の彫刻を紹介します。

の騎馬像など、オルレアン市民の誇りでもあるナーチャーも用意され

## 帯広美術館

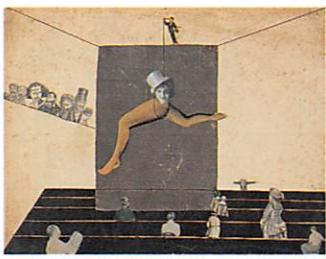
### ヨーロッパの華麗な女性美展

五月二一日(金)～六月二三日(水)

人物像は西洋絵画の伝統的なテーマの一つであり、画家たちは幾多の男性像・女性像を繰り返し描いてきました。この展覧会では六八作家の七六作品によって一六世紀オランダから一九世紀末フランスにいたる近世ヨーロッパ絵画の流れを概観するとともに、その歴史の中でさまざまに描かれてきた女性像の変遷を三つのコーナーにわたり紹介します。第一部「物語の世界」では神話や宗教、物語に現れる女神や女性たちをモティーフにした作品、第二部



ポルティエルジエ「白いバラ」



三岸好太郎「見物客」

### 三岸好太郎美術館 三岸好太郎美術館 特別展 一九三〇年代の青春－ 三岸好太郎と 北海道独立美術作家協会の 画家たち

六月三日(木)～七月二五日(日)

一九三〇年に結成された独立展は新しい美術団体として画壇で注目を集め、三岸好太郎が創立会員であったことも手伝い北海道から多くの出品者を輩出しました。

北海道出身の独立展出品者は、一九三三年、指導者の立場として三岸を迎えた。札幌で北海道独立美術作家協会を

結成します。菊地精二、小山昇、植木茂、国松登ら二〇代の若い画家たちは、札幌と東京で展覧会を開催し、フォーヴィスム、抽象、シュールレアリズムなどさまざまな傾向の作品を発表しました。一九三四年には三岸が急逝し、やがて、彼らは各々の道へと進んでいきますが、独立展初期の一九三〇年代、新しい絵画を目指して集まつた画家たちの青春の軌跡をたどります。

「自然の恵み・戸外での楽しみ」では戸外に集い自然の中でもつろぐ女性たちを描いた作品、第三部「室内的美女たち」では室内で遊戯や音楽に興ずる女性の姿をとらえた作品を紹介します。女性像を描き出すことから、現実世界に生きる個性豊かな女性たちの姿や個性を映し出すことへと、画家たちの造形意識が変化していく様子がご覧いただけるでしょう。女性美というテーマを通して多彩に花開いた近世絵画の世界をご覧ください。

## 札幌彫刻美術館

平成十一年度前期収蔵品展

釣り人 本郷 新の原点「少女の首」：本館  
彫刻家 本郷 新のもうひとつの顔－：記念館  
釣り人 拔海－

四月八日(木)～八月二二日(日)

新は、国画創作協会に出品した「少女の首」(一九二七年)が初入選を果たします。この作品が、彫刻家としての第一歩、デビュー作でした。その後、頭像や裸婦の小品が大半を占めていますが、次第に大作に取り組み記念碑的野外彫刻(モニュマン)への関心を強めていきます。



本郷 新「女の首」

札幌の画家シリーズの十回目として開催するこの展覧会は、一九四〇年代の作品から、東京時代や七七年に札幌に移ってから現在に至るまでの作品によつてそれぞれの画業を紹介すると

### 芸術の森美術館 八木保次・八木伸子展

五月二三日(日)～七月四日(日)

ダイナミックな筆づかいによる色彩が絡まりあう躍動的な八木保次の作品。夫婦として共に歩んだ長年にわたる画業の中で互いに影響しあいながらそれの造形の世界を深めてきました。札幌で生まれ育った二人は一九五二年に結婚して上京、美術家が多く住み「池袋モンパルナス」と呼ばれた地区



八木伸子「湖」1994年

にアトリエを構えます。それを境に二人は対象を幾何学的な形に還元してとらえようとする傾向を強め、一九六〇年前後には伸子も現在の保次の作品に通じる抽象作品を一時期描いています。

札幌の画家シリーズの十回目として開催するこの展覧会は、一九四〇年代の作品から、東京時代や七七年に札幌に移つてから現在に至るまでの作品によつてそれぞれの画業を紹介するとともに、二人の画家としての影響関係を浮き彫りにしようと

今回は、本郷 新の彫刻家としての原点ともいえる「少女の首」をはじめ一九六〇年までの約三十年間の作品を展示します。

記念館では自ら「拔海」と名のつた釣り人・本郷 新をご紹介します。

釣は、野外彫刻という大きな作品を制作する合間に、充電であったのでしょ

うか。ひとつのことに熱中しやすい気性は、釣りの魅力にとらえられ、船釣、磯釣、溪流釣、湖沼釣とレパートリーを広げている様子が伺えます。そんな趣味

人・本郷 新の一面を、遺された絵画等でご紹

# MUSEUM CALENDAR

'99. 4月～'99. 10月

## 美術館の展覧会ご案内

	4	5	6	7	8	9	10
近代美術館	貸 館	4/28～7/4 シルクロードの煌めき展		7/15～8/29 ルノワール展 (毎週金曜は夜間開催)	9/8～10/10 奥村土牛展		
旭川	4/9～5/9 河井寛次郎展	5/13～6/6 星野道夫の世界展	6/12～7/28 智恵子 その愛と光彩 —高村光太郎の彫刻と智恵子の紙絵展—	8/5～9/5 インド航路発見500年 日葡文化交流特別展 ボルトガルー栄光の500年展		9/18～10/24 ふるさとニッポン展 ～美術に探る「原」風景 1960年代から現在まで～	
函館	貸 館	5/14～6/13 近代陶芸の巨匠 河井寛次郎展	6/19～7/18 オルレアン 美術館展	7/24～9/12 エコール・ド・パリの異才 バスキン展 —愛とさすらいの旅路—	9/19～10/23 英国のアール・ヌーヴォー・リバティ・スタイル展		
帯広	4/9～5/12 魅惑のガラス芸術 アール・ヌーヴォーから現代まで	5/21～6/23 ヨーロッパの華麗な女性美展 16世紀～19世紀 近代絵画の流れ	7/2～7/28 アイヌの四季と生活 十勝アイヌと絵画 平沢辰山 [貸館]	8/6～9/15 英国のアール・ヌーヴォー・リバティ・スタイル展	9/22～11/10 20世紀静物画の展開		
三岸好太郎	4/1～5/30 所蔵品展 “道化の抒情”	6/3～7/25 1930年代の青春 三岸好太郎と北海道独立 美術作家協会の画家たち	7/29～9/26 所蔵品展 “生きた・描いた・愛した 天逝の画家の生涯”	10/2～11/21 三岸好太郎 三岸 節子			
札幌彫刻	4/8～8/22 平成11年度前期収蔵作品展 彫刻家本郷新の原点—1927年から1960年までの軌跡—（本館） 釣り人 抜海—本郷新のもうひとつの顔—（記念館）			8/28～10/11 第9回本郷新賞受賞記念彫刻展			
札幌芸術の森	4/3～5/16 ピカソ・陶芸の世界 奔放・自由・遊び心 —ヴァロリスの日々	5/23～7/4 八木保次・伸子展 (仮称)	7/10～8/22 彫刻の理想郷(アルカディア) —イタリア・チェレからの贈りもの—	8/28～10/10 クラフト 全国公募展'99			

### 道立釧路芸術館オープン

昨年10月23日に道立釧路芸術館が新設オープンしました。

人間と自然との関わりをテーマとする、美術や写真などの芸術作品の収集、保存、展示機能、美術や音楽などについて地域住民や利用者の積極的な参加がはかられるようさまざまな事業を開展します。

★美術展覧会のみ11年4月1日から協力会会員証が利用できる様になりました。



# ESSAY

## 食べず嫌い



浅尾 早苗

私は食べず嫌いのものが結構あります。食べる物はもちろんですが、自分に出来ない事、苦手な事に對して避けて通るようなどうが多々あるのです。その中には絵も入ってました。母に言わせると、クレヨンで描いている頃にはのびのびと良い絵を描いていたのに、水彩画になりました。母に言わせると、クリエイティブで始めたからへタになつたと。習つてもみましたがさっぱり芽も出ず、

はからずも道外から参加させて頂いた「美の探訪の旅」でした。一昨年の「イタリア・ルネサンスの旅」と昨年の「スペイン・ポルトガルの旅」によつて得たものは、何十年間も持ち続けた会社人間の価値観を百八十度変えさせてくれたことでした。

ルネサンスのダヴィンチ・ラファエロ・ミケランジェロ・カラヴァッジオ等々によつて聖書に関心を持つようになり、そこから当地(藤枝)

## 絵画との出会い



小山 信雄

存住の作家小川国夫先生との交流にもつながり幸せを得ました。スペイン・ポルトガルでは、力タルニヤ美術館の中世聖堂の壁画を始め、グレコ・ゴヤ・ピカソ・ミロ・ダリ等々までふれることで、巾広く展覧会にも通うようになりとう具合に、得たものは数知れずということでしょうか?

そして、これらの旅で親しくさせて頂いたH様、K様、S氏、T氏等々、皆様にこれからもお会いし、お付き合いさせて頂く楽しみも加わりましたし、北海道の美術館にも是非と今から楽しみです。暖地から又参加させて頂きますので、その節はよろしく。

(静岡県在住)

## 新会員紹介

平成10年3月～平成10年7月  
(敬称略)

### 理事会開催

平成10年度第二回理事会を三月二十四日開催、次の事項が審議され定例総会に提案することになりました。  
・平成十一年度事業・収支決算見込  
・平成十一年度事業計画(案)

訂正のお知らせ

三十号ページの帯広美術館への交通案内  
・平成十一年度新入会員について

8月	札幌市	吉宮	田田	桂	子子明泰美子	札幌市	牧黒渡櫻小	貞夫
	//	子江子	守小神	須延和幸	藤本	//	川井島	かおり芳貞美枝子
	//	神辺	守小神	千恵恵千和	山伊森崎	//	櫻小	貞夫
	//	唐渡	武松	千恵恵千和	内井三山	//	木野	黒渡櫻小
	//	三門	遠大	弘美津子	我孫子	//	木本	横井島
	//	小牧市	沼杉	紀代子	塚	//	鈴木	育寛
	//	札幌市	上木	都志子	善一子	//	木野	美枝子
	//	鉄路市	木本	圓代代	子	//	鈴木	貞子
	//	札幌市	井	智郁喜	剛一子	//	木本	貞子
9月	小樽市	大萱生	辻川瀬	塚	子	//	皆高	貞子
	//	札幌市	上木	上小	慧幸和	//	高中岸	貞子
	//	札幌市	木	辻村島	奈美子	//	橋山	貞子
	//	札幌市	松山	田島	美子	//	木本	貞子
	//	札幌市	浅坂	部田	喜文健厚	//	木野	貞子
	//	札幌市	南山	田山	雅子	//	木野	貞子
	//	札幌市	平渡	部田	人紀子	//	木野	貞子
	//	札幌市	釜	田山	純子	//	木野	貞子
	//	札幌市	古栗	部田	一	//	木野	貞子
	//	札幌市	上	田山	千鶴子	//	木野	貞子
	//	青森県	松	長谷川	義子	//	木野	貞子
	//	帯広市	尾	原田	亞希子	//	木野	貞子
	//	江別市	木	尾木	美智子	//	木野	貞子
	//	北広島市	阿勝	小山	志保利子	//	木野	貞子
	//	北広島市	小	阿勝	昭子	//	木野	貞子
	//	北広島市	江別市	部	澄英正	//	木野	貞子
	//	北広島市	深川市	高	天	//	木野	貞子
10月	札幌市	荒加菅長大	牧之瀬橋	塚	一子	//	皆高	貞子
	//	札幌市	渡上	高村	子	//	高中岸	貞子
	//	札幌市	小	小野寺口	喜和	//	橋山	貞子
	//	札幌市	大	畑辻	和	//	木本	貞子
	//	札幌市	上	高村	美子	//	木野	貞子
	//	札幌市	小	小野寺口	健厚	//	木野	貞子
	//	札幌市	大	畑辻	雅	//	木野	貞子
11月	女満別町	高佐々池	牧之瀬橋	塚	一子	//	芦別市	貞子
	//	札幌市	河武下	高村	千枝子	//	芦別市	貞子
	//	札幌市	平渡金	小野寺口	典子	//	芦別市	貞子
	//	札幌市	古栗上	畑辻	天	//	芦別市	貞子
	//	札幌市	長谷川	鈴木太	天	//	芦別市	貞子
	//	札幌市	原田尾木	田中	天	//	芦別市	貞子
	//	札幌市	尾木山	松田	天	//	芦別市	貞子
	//	札幌市	部本林	高	天	//	芦別市	貞子
12月	小樽市	高佐々池	牧之瀬橋	塚	一子	//	法人会員	——
	//	札幌市	河武下	高村	千枝子	//	法人会員	——
1月	札幌市	平渡金	小野寺口	塚	一子	//	法人会員	——
	//	札幌市	古栗上	畑辻	天	//	法人会員	——
	//	札幌市	長谷川	鈴木太	天	//	法人会員	——
	//	札幌市	原田尾木	田中	天	//	法人会員	——
	//	札幌市	尾木山	松田	天	//	法人会員	——
	//	札幌市	部本林	高	天	//	法人会員	——

# 美へのかけ橋

# アルテピア会員募集

## 私たちで 好きな絵を

～1977年設立主旨～

### 新会員の声

会員になってから始めて絵に親しみを感じると共に、大勢の方々との出会いにも恵まれ絵を見る事によって、心が豊かになり、今まで味わった事の無い感動もたくさんありました。

後 孝枝

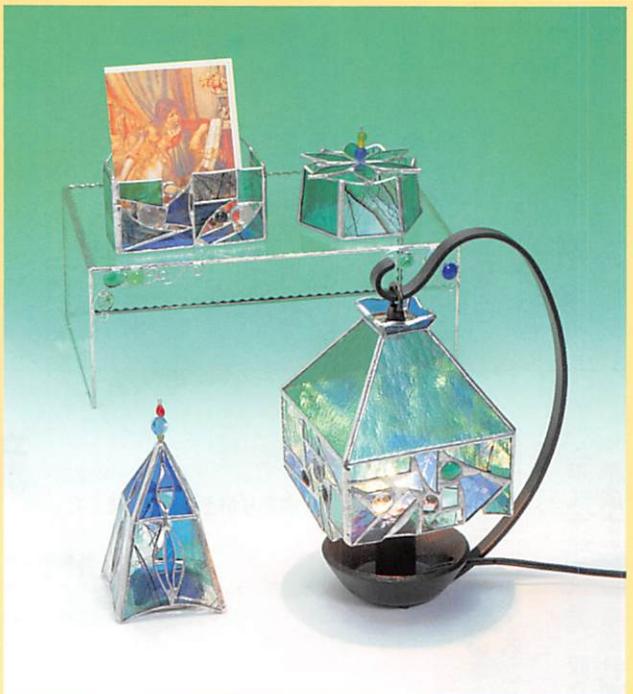
友人がボランティアをしており、会のことを教えてもらいました。いろいろな情報を知ることができるので足を運ぶ機会がふえると思います。

関根 洋子

(会員申込み  
札幌市中央区北2条西17丁目 電話 011-644-4025)



近代美術館売店商品



編集  
だより

去る一月二十一日当会の役員懇談会（理事・監事及び事務局とボランティア七部の部長が出席）が開催され、会員の拡大や知名度アップなど当面する懸案事項について様々な意見交換がありました。この懸案事項について、事業部門別に担当をきめ改善協力をすることになりました。

また、協力会の運営と活動の状況について、役員も再確認し会員の皆さんに周知することが大切との意見がありましたので、本号で、平成十一年度の事業運営の概要とボランティア活動の状況を掲載しました。会員皆さんのご提案ご意見等、是非お寄せください。広報部員一同お待ちしています。

### 新作登場〈ビデオライブラリー〉

### 「本間莞彩－北国の抒情」

近代美術館1階の、ビデオライブラリーに、新しいビデオが入りました。

札幌の雪景色をはじめとし、特に冬の北海道を抒情あふれるタッチで描いた莞彩。

本編では札幌をはじめとする本道の実景を織り交ぜながら構成し、北国の風土に根ざした画業を俯瞰します。